3　ミッションごとの活動と成果の詳細

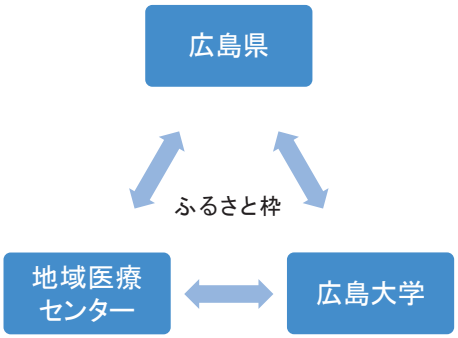
ミッション①

地域医療の教育並びに実習・研修の指導、講演会（啓発活動）：ふるさと枠を中心とした医学部医学科生や初期研修医、後期研修医、地域の医療機関に勤務する医師、地域住民等を対象

A ふるさと枠の運営・教育

広島県、広島県地域医療支援センター、広島大学医学部の連携により、ふるさと枠入学者の教育、ふるさと枠制度の運営を行っております。以下の教育プログラムを提供しております。

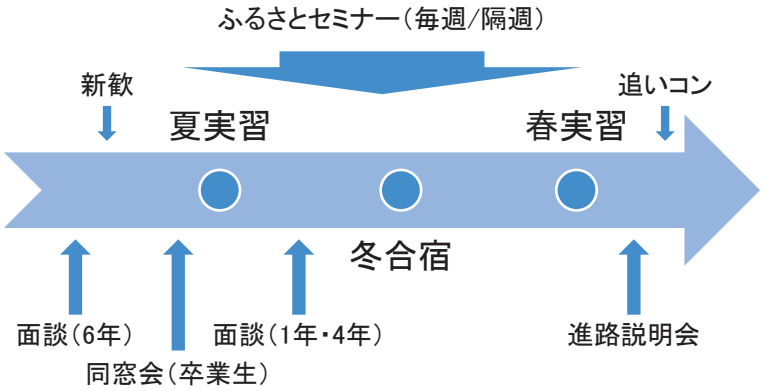
ふるさと枠を支える仕組み



ふるさと枠の教育プログラム

目的	プログラム		内容	1年	2年	3年	4年	5年	6年	卒後
地域医療マインド	ふるセミ		毎週or隔週（1-3年は必須）	○	○	○	○			
	地域医療セミナー	夏	医療現場体験（1泊:必須）	○	○	○	○			
		冬	合宿でのグループワーク等（1泊:必須）	○	○	○	○			
		春	医療現場体験（1泊～3泊:希望者）	○	○	○	○			
広島定着	個人面談		進路指導、研修先相談、入局相談	○			○		○	○
	説明会		臨床研修制度説明				○	○		
			配置手順、キャリアパス説明	○	○	○	○			○
	情報交換		同窓会･意見交換会							○

年間スケジュール



①地域医療研究会（ふるさと枠セミナー：通称ふるセミ）

講座開設直後の平成22年4月より昼食をとりながらふるさと枠1～4年生全員でミーティングをしています。隔週あるいは毎週一回行っています。ふるさと枠制度のオリエンテーション、キャリアプランの説明、知事指定診療科の説明、自治医大卒の女性医師による講演会、医療面接の実習、実技の実習、臨床知識のミニ講義、現地実習のための準備、地域医療をテーマとした話し合いなどを行っています。ふるさと枠学生の将来への不安解消、モチベーション維持、アイデンティティーの確立、仲間意識の醸成につながるよう心がけています。活動内容は学生代表を中心に幹部学年（3年生）が相談して決めており、当講座教員および広島県地域医療支援センターも適宜提案を行います。当講座スタッフは顧問役として常時参加いたしました。1～3年生の平均出席率は94%でした（4年生は自由参加）。

～前期スケジュール～

今年度前期の目標は、「学年を超えて、関係を深めよう」です。

同じ班の人とたくさんおしゃべりして、仲良くなりましょう！

4/10(水)	学部長挨拶・全体写真撮影
4/17(水)	夏実習の説明/自己紹介
4/24(水)	英国の家庭医による特別公演
5/8(水)	医療に関するクイズ
5/15(水)	松本先生よりふるさと枠制度の説明
5/22(水)	コミュニケーションについて
5/29(水)	各科について
6/5(水)	石田先生・吉田先生のお話
6/12(水)	医療ドラマについて
6/19(水)	医療手技
6/26(水)	夏セミナー施設紹介(29より)
7/3(水)	夏セミナー班で打ち合わせ

※5/1(水)はお休みとなりますので、注意してください。
スケジュールは変わることもあるかもしれません。変更があれば連絡します。
毎回、お弁当を出します。
※欠席するときは理由を添えて各学年の学年代表まで連絡するようにしてください。欠席が続くと地域医療システム学から呼び出し・面談があります。

この他、**5月24日**に**新入生歓迎会**を予定しています。

また、**夏の実習は8月19～22日、冬の合宿は12月26～27日**の予定となっています。詳しい日程は追って連絡しますので、スケジュールを空けておいてください。

※26年度入学生、27年度入学生、28年度入学生の方は自由参加とします。

何かわからないことがあったときは

@hiroshima-u.ac.jp（3年）まで連絡してください。

～後期スケジュール～

今年度後期の目標は、「学年を超えて、関係を深めよう」です。

同じ班の人とたくさんおしゃべりして、仲良くなりましょう！

10/9(水)	顔合わせ・ゲーム
10/16(水)	3年生による企画
10/23(水)	ふるさと枠キャリアプランについて
11/6(水)	3年生による企画
11/13(水)	3年生による企画
11/27(水)	知事指定診療科(病理診断科)について
12/4(水)	冬合宿説明会・出欠確認
12/11(水)	女性医師と義務年限について
1/8(水)	春合宿説明会
1/15(水)最終回	2年生による企画

※後期は所々、お休みとなりますので、注意してください。
スケジュールは変わることもあるかもしれません。変更があれば連絡します。
毎回、お弁当を出します。
※欠席するときは理由を添えて各学年の学年代表まで連絡するようにしてください。欠席が続くと地域医療システム学から呼び出し・面談があります。

この他、**3月中旬**に**追いコン**を予定しています（日程は調整中）。

また、**冬の実習**は12月26・27日に行う予定となっています。

スケジュールを空けておいてください。

※26年度入学生、27年度入学生、28年度入学生の方は自由参加とします。

何かわからないことがあったときは

@hiroshima-u.ac.jp（3年）まで連絡してください。

②夏季実習（地域医療セミナー）

毎年夏季休暇中に本講座、広島県、(財)広島県地域保健医療推進機構、広島県国民健康保険診療施設協議会の共催で地域医療現地実習を行いました。本実習は、多くのふるさと枠学生にとって、1年間で最も思い出に残る行事として人気の高い実習です。

平成30年8月20日、21日、22日、23日　県内中山間地及び島嶼部の医療機関18カ所で泊まり込みの実習を行いました。参加者は1～4年生の本学ふるさと枠学生、自治医科大学学生、他大学所属の広島県奨学生など97名で、約4名ごとに分かれて各医療機関に向かいました。現場での学びに加えて、先生方と夕食を共にする中で地域医療に対する思いを伺うことができた、大変貴重な実習となりました。最終日は大学に集合して実習報告を行い、地域医療について学んだことを共有しました。優れた報告プレゼンテーションを表彰いたしました。実習後の評価では95%の学生が将来の中山間地勤務に肯定的な回答をしていました。

※参加者

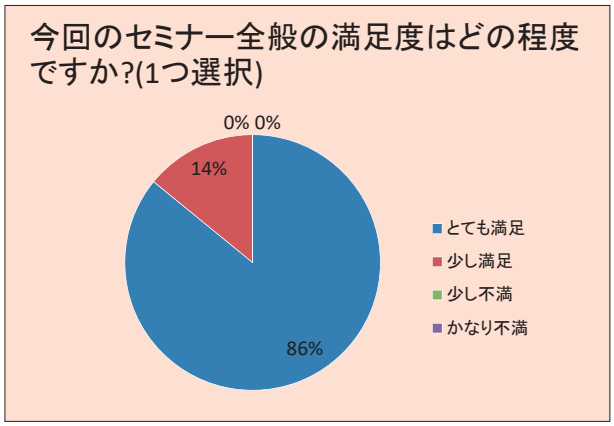
学　年	自治医科大学	広島大学ふるさと枠		岡山大学地域枠	県奨学生	市町奨学生
		広島県コース	岡山県コース			
1年生	3人	18人	2人	0人	0人	0人
2年生	2人	18人	1人	2人	0人	0人
3年生	1人	19人	2人	0人	1人	0人
4年生	3人	17人	1人	1人	2人	0人
小　計	9人	72人	6人	3人	3人	0人
合　計	93人					

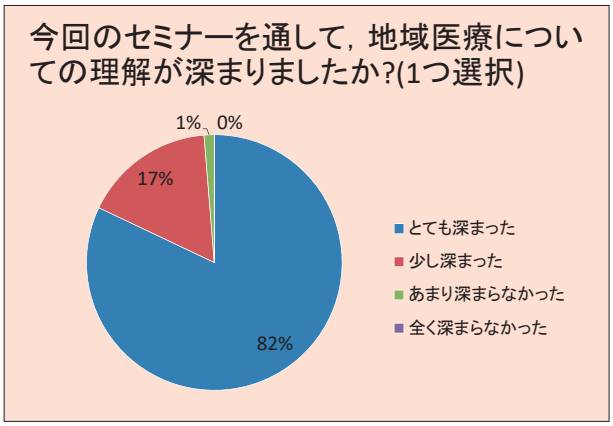
※その他　広島大学医学部医学科1名、広島大学医学部保健学科看護学専攻3名

※実施医療機関一覧（県内 18 医療機関）

	診療所コース		病院コース	
区　分	医療機関名	所　在	医療機関名	所　在
西　部	吉和診療所	廿日市市	安芸太田病院	安芸太田町
	雄鹿原診療所	北広島町		
南　部	円山医院	大崎上島町		
	田村医院	大崎上島町		
	森本医院	呉市		
	南海診療所	東広島市		
	はたのリハビリグループ	広島市		
東　部	大和診療所	三原市	公立みつぎ総合病院	尾道市
	瀬戸田診療所	尾道市	沼隈病院	福山市
北　部	甲奴診療所	三次市	庄原赤十字病院	庄原市
	総領診療所	庄原市	西城市民病院	庄原市
	作木診療所	三次市	神石高原町立病院	神石高原町

※実習後アンケート





令和元年８月19日、20日、21日、22日　昨年同様に県内中山間地及び島嶼部の医療機関17カ所で泊まり込みの実習を行いました。1～4年生の本学ふるさと枠学生、自治医科大学学生、他大学所属の広島県奨学生など88名が参加しました。約4人1組の小グループを25班編成し、予め各班で実習内容を企画して、各医療機関を訪問しました。最終日は大学に集合して各班の実習報告を行い、学んだことを共有しました。優れた報告プレゼンテーションを表彰しました。実習後のアンケート調査の結果、99%の学生が地域医療についての理解が深まったと回答しました。

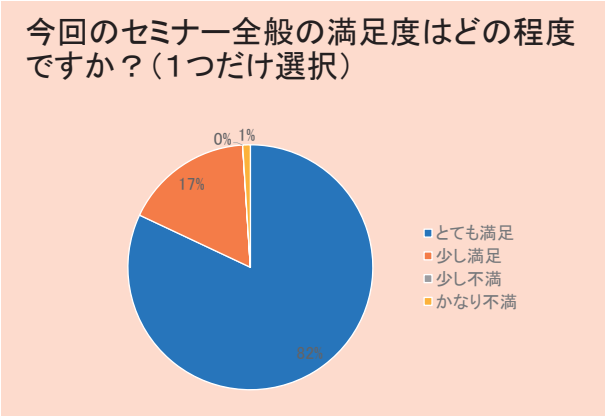
※参加者

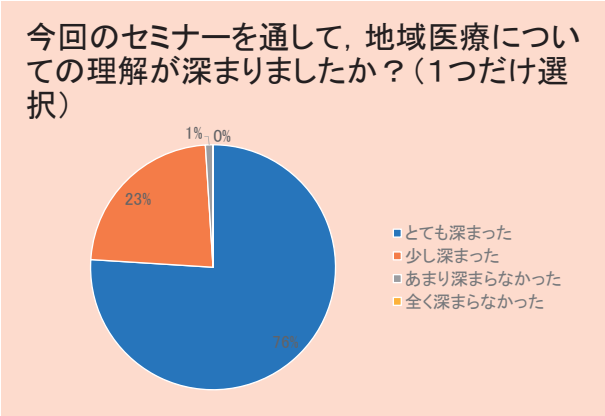
学　年	自治医科大学	広島大学ふるさと枠		岡山大学地域枠	県奨学生	市町奨学生
		広島県コース	岡山県コース			
1年生	3人	18人	2人	2人	0人	0人
2年生	2人	17人	1人	0人	0人	0人
3年生	1人	18人	1人	2人	0人	0人
4年生	1人	18人	2人	0人	0人	0人
小　計	7人	71人	6人	4人	0人	0人
合　計						88人

※実施医療機関一覧（17 医療機関）

	診療所コース		病院コース	
区　分	医療機関名	所　在	医療機関名	所　在
西　部	吉和診療所	廿日市市	安芸太田病院	安芸太田町
	雄鹿原診療所	北広島町		
南　部	森本医院	呉市		
	円山医院	大崎上島町		
	南海診療所	東広島市		
東　部	大和診療所	三原市	公立みつぎ総合病院	尾道市
	瀬戸田診療所	尾道市	沼隈病院	福山市
			府中市民病院	府中市
北　部	甲奴診療所	三次市	庄原赤十字病院	庄原市
	作木診療所	三次市	西城市民病院	庄原市
	総領診療所	庄原市	神石高原町立病院	神石高原町

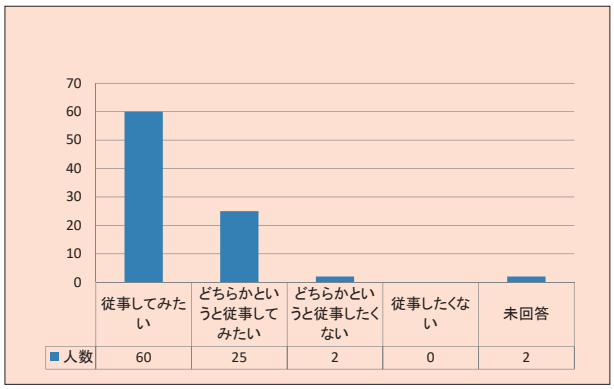
※実習後アンケート

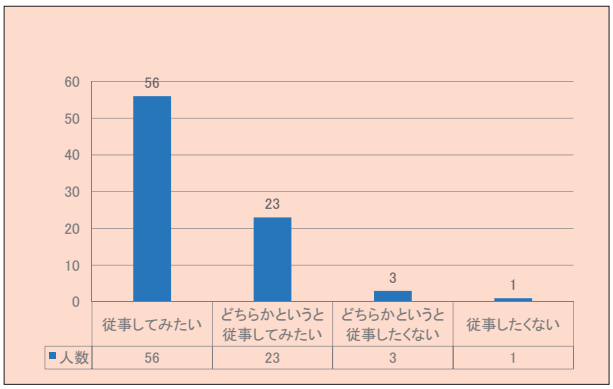




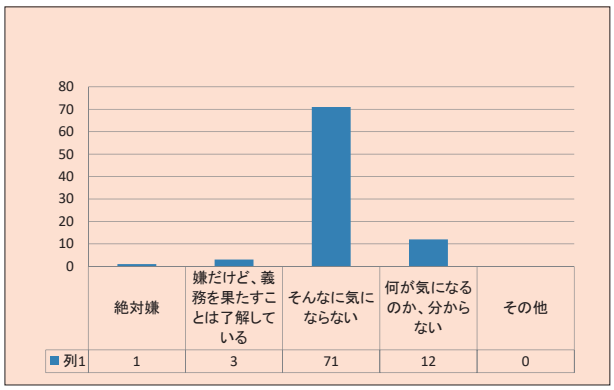
地域医療セミナー後アンケート

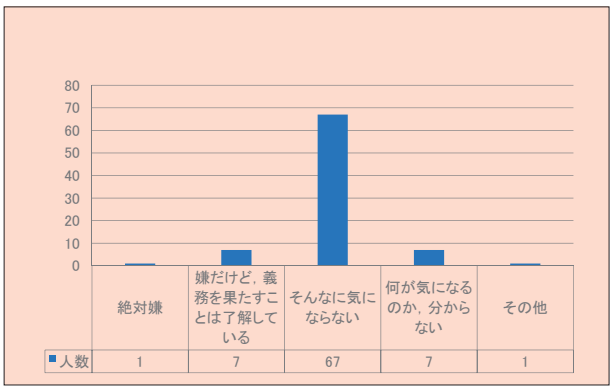
あなたは将来、へき地医療に従事してみたいですか？



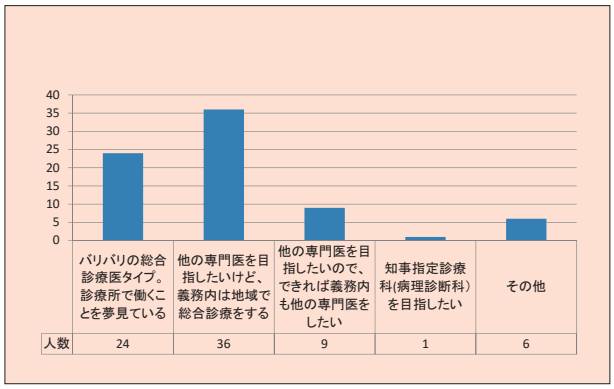


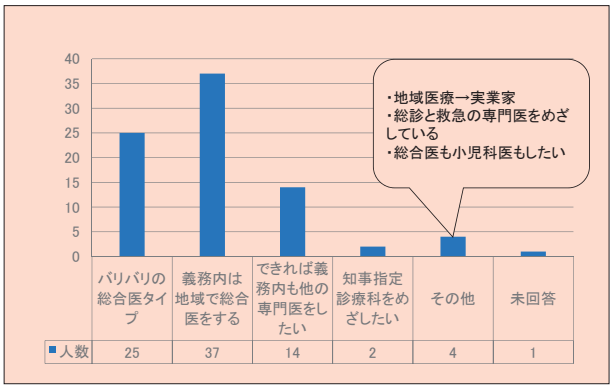
義務があることに関して、どのように考えていますか？





今、自分が目指している方向性に近いものは？





③冬季実習（冬合宿）

本講座と（財）広島県地域保健医療推進機構の共催で毎年冬期休暇中に合宿勉強会を行っています。

平成 30 年 12 月 26 日、27 日 「YMCA コンフォレスト湯来」にて、一泊の合宿を行いました。参加者は本学ふるさと枠学生、自治医科大学学生、広島県奨学生（岡山大学学生、島根大学学生、愛媛大学学生）81 名でした。初日は庄原市立西城市民病院院長　郷力和明先生による「ともに生きる」という講演会を開催しました。高齢化が進む西城町での地域医療が果たす役割として、生活を含めた患者さんとの関わり、点ではなく面の医療を心がけること、というお話に、皆熱心に聞き入っていました。続いて、ふるさと枠第 1 期卒業生で、庄原赤十字病院循環器科に勤務されている板倉（現大澤）文乃先生に、学生時代のお話、ふるさと枠出身医師として勤務する思いなどについてご講演頂きました。グループワークでは、目指す医師像、そのために学生時代に必要なことなどについて、熱心に意見交換をする姿が見られました。

2 日目は、「The Island」という映画を鑑賞した後、クローンを利用した医療についてどう考えるかについて話し合いました。

令和元年度は、12 月 26 日、27 日にかんぽの郷庄原で合宿を行いました。参加者は 1 ～ 4 年生のふるさと枠生、広島県奨学生（岡山大学学生、島根大学学生）71 名でした。初日は庄原赤十字病院院長　中島浩一郎先生に、「私が地域医療に携わるまで。そして現在の地域医療の一形態（地域医療連携推進法人）」と題してご講演頂きました。庄原市唯一の総合病院であり「地域医療の砦」とし医療に取り組む同病院では、多くのふるさと枠出身医師が活躍しています。参加した学生にとっては、将来のキャリアを考える上でも重要な医療機関の一つであり、皆熱心に中島先生のお話に耳を傾けていました。そして、全国に先駆けて設立された「備北メディカルネットワーク」について学んだ後、複数の病院が 1 つの法人になるメリットについて、学生同士で話し合いました。

次に、ふるさと枠第 3 期卒業生で、市立三次中央病院産婦人科で勤務しておられる張本姿先生に「産婦人科の魅力～私の進路選択～」というタイトルで、産婦人科を選択したプロセスについてご講演頂きました。学生からは「医師としての将来像がイメージできた」「どのように診療科を選択したのか、悩みも含めて詳しく聞けて良かった」という感想がありました。夜の懇親会には、中山間地域の医療機関でご活躍されている先生方もご参加下さり、和やかな雰囲気の中でお互いの親睦を深めました。

2 日目は映画「きっと、星のせいじゃない」を鑑賞した後、大切な人を病気で亡くす側の立場や、死との向き合い方などについてグループで話し合いをしました。

④春季実習

毎年春季休暇中に泊まり込みの現地実習を行っています。春季実習は希望者のみの参加としています。

令和元年２月中旬～３月中旬、計 13 名が１～２名ずつ医療機関を訪問し１泊２日の実習をさせていただきました。施設ごとに特徴的なプログラムを作成していただきました（ご協力いただいた施設：公立みつぎ総合病院、雄鹿原診療所、安佐市民病院、庄原赤十字病院、森本医院、百島診療所）。

令和２年２月下旬～３月中旬、計 21 名が前年同様に実習をさせて頂きました。事前に各施設の担当医師と相談しながら実習内容を計画しました。少人数ならではの充実した実習となりました（ご協力いただいた施設:公立みつぎ総合病院、雄鹿原診療所、安佐市民病院、庄原赤十字病院、百島診療所、瀬戸田診療所）。

⑤個別面談

平成 30 年度、令和元年度とも、ふるさと枠の１年生、４年生全員に対し、学生２名と教員２～３名が昼食を伴にする形式で面談を行い、学業のこと、大学生活のこと、将来の進路のことなどを話し合いました。6 年生については一人一人について個別面談を行い、臨床研修病院の選び方やその後の進路のことなどを指導・相談しました。また、平成 30 年度は、ふるさと枠卒業生の女性医師のうち希望があった９名の勤務先を訪問し、当講座石田と地域医療支援センターの女性職員１名による個別面談を実施しました。現在困っていることや、将来の進路や生活のことなどを話し合うことができました。令和元年度は、希望者に随時個別面談を行いました。

⑥臨床研修説明会

平成 30 年 12 月 18 日および令和元年 12 月 19 日、4 年生（希望者）、5 年生（全員）に対して臨床研修説明会を開催しました。臨床研修マッチング制度に関する説明、およびふるさと枠学生が研修病院を選ぶ際の注意点の説明を行いました。

⑦ふるさと枠医師意見交換会・同窓会

平成 30 年 8 月 18 日、広島大学において第 1 回ふるさと枠医師意見交換会を開催し、18 名の参加がありました。制度の説明、各々の近況報告、グループに別れた交流会、教員による個人面談を行い、臨床研修医については入局の希望調査も行いました。会の終了後は同窓会を行い、久しぶりに会うメンバーで盛り上がりました。

令和元年 7 月 6 日、広島県医師会館において第 2 回ふるさと枠医師意見交換会を開催し、面談のみの参加者を含めて 35 名の参加がありました。制度の説明、各々の近況報告の後、グループに分かれて広島県健康福祉局医療介護人材課職員・広島県地域医療支援センター職員・教員と面談を行いました。終了後は場所を移動して同窓会を開き、22 名の参加者と楽しく過ごしました。各地で活躍する卒業生の成長を頼もしく感じました。

⑧岡山大学医学部医学科地域枠広島県コース学生面談

平成 31 年 2 月 19 日、広島県健康福祉局医療介護人材課職員・広島県地域医療支援センター職員・教員が岡山大学を訪問し、地域枠広島県コースの学生と面談し、広島県における義務履行の説明を行いました。

⑨ふるさと枠卒業生へのキャリア支援

広島県、広島県地域医療支援センター、広島大学医学部と連携し、ふるさと枠卒業生へのキャリア支援を行っております。詳細は「ミッション③　地域医療課題への対応：地域医療に求められる医療人（医師）養成・育成システムの立案・実施など」をご参照ください。

⑩ふるさと枠の学生確保

広島県および広島県地域保健医療推進機構と共同し、ふるさと枠の学生確保のための各種対策を行っています。具体的には受験生確保のための高等学校訪問、高校生向けのパンフレット作成（毎年更新）、広島大学オープンキャンパスへの参加、ふるさと枠キャリアプラン作成のための学内外の調整を行っています。

⑪ふるさと枠学生の学業成績および義務履行支援

また、順調に進級し卒業できるよう、ふるさと枠学生全員の個別面談を行ったり、個別相談を受け入れたりなど、きめ細かな指導を行っています。平成 21 年度の制度開始から令和元年度に至るまで奨学金返還者は 0 名（卒前・卒後含む）であり、医師国家試験の合格率も一般医学科生を上回る結果となっております。

さらに平成 29 年度から令和元年度まで 3 年連続で広島大学医学部学生表彰受賞者（医学科首席卒業者）をふるさと枠広島県コースから輩出しております。

卒業後は各自専門を磨きつつ、広島県内の公的医療機関において勤務しております。令和 2 年度は卒後 3 年目以上ふるさと枠医師 52 名中、21 名が中山間地の公的医療機関に勤務しており、7 名が知事指定診療科に従事しています。

ふるさと枠案内パンフレット

広島大学ふるさと枠入学制度（広島枠・岡山枠）
1 期生～入学者計 175 名のうち奨学金返還事例

0

医師国家試験合格状況（平成 27 ～令和 2 年度）

	広島大学医学部医学科	ふるさと枠（広島・岡山）
のべ受験者	750	93
のべ合格者	681	89
合格率	90.8%	95.7%

広島大学ふるさと枠広島県コース出身医師の勤務先

区分		勤務先機関	R1 (R2.3)	R2年度配置 合計	H26卒（配置4年目）	H27卒（配置3年目）	H28卒（配置2年目）	H29卒（配置1年目）	備考
中山間地域	中堅病院	三次中央病院	7	8		4	2	3	
		庄原赤十字病院	5	5		2	3		
		みつぎ総合病院	1	1	1				
		JA吉田総合病院	1	1	1	1	1	1	
	中小病院	安芸太田病院	1	1	1		1		
		西城市民病院	1	－					
	計		16	21	3	7	7	4	
指定診療科	病理	広島大学病院	2	2		2			
	産科	広島大学病院等	3	5		2	1	2	三次中央病院への配置1名を含む。
	計		5	7		4	1	2	
その他		広島大学病院等（9機関）	13	24	2	4	6	9	
合計			34	52	5	15	14	18	大学院進学等を含む。